

海外英語演習

責任者・コーディネーター	外国語学科英語分野 柳谷 千枝子 講師		
担当講座・学科(分野)	外国語学科英語分野		
対象学年	1, 2, 3, 4, 5, 6	区分・時間数	約 2 週間
期 間	後期		
単 位 数	2 単位		

・ねらい

英語圏の国に短期間滞在し、大学または語学学校の教師による集中的な語学の授業を受ける。授業においては、日常会話に役立つ表現や文法事項などをテーマに扱う。そして、英語を聴く訓練を通して話す能力を伸ばし、将来医師・歯科医師・薬剤師・看護師として活躍する際に必要な英語の総合力を培う。図書館、コンピューター室等の施設を利用することができ、いろいろな国々の人々と共にアクティビティーに参加することもある。また、英語圏の国の文化、歴史に対する理解を深めるために、さまざまな名所旧跡を見学する。

外国で様々な経験を重ねることにより、豊かな人間性を養い、また国籍にかかわらず相手の立場を理解できるようになり、臆することなく自己を表現することによって友好的な国際的人間関係を築くことができるようになる。

・学修目標

教養教育に求められる豊かな人間性の涵養の一環として行う。

1. 海外での生活体験を通して異文化に触れることで多様な価値観を理解でき、幅広い視点から人および物事を見ることができる。
2. 英語研修によって日本語を再認識することで、その能力向上を図るとともに、将来必要とされる患者との相互理解、信頼関係構築のためのコミュニケーションを図ることができる。

・薬学教育モデル・コア・カリキュラム（令和4年度改訂版）対応項目

B-2-1 対人援助のためのコミュニケーション

・学修事項

- (1) 現地の人と英語での意思疎通。
- (2) 教室では間違いをおそれず積極的に発言すること。
- (3) 日本人同士で集まることなく各国の人たちと積極的に交流すること。

・この科目を学ぶために関連の強い科目

English Speaking & Listening、English Reading & Writing、科学英語、実践英語

・この科目を学んだ後につなげる科目

薬学実践英語 1、薬学実践英語 2

・ディプロマポリシーとこの科目関連

1. 薬剤師として医療に携わる職業であることを理解し、高い倫理観と豊かな人間性、及び社会の変化に柔軟に対応できる能力を有しているもの。	
2. 地域における人々の健康に関心をもち、多様な価値観に配慮し、献身的な態度で適切な医療の提供と健康維持・増進のサポートに寄与できるもの。	
3. チーム医療に積極的に参画し、他職種の相互の尊重と理解のもとに総合的な視点をもってファーマシューティカルケアを実践する能力を有するもの。	
4. 国際的な視野を備え、医療分野の情報・科学技術を活用し、薬学・医療の進歩に資する総合的な素養と能力を有するもの。	◎

・評価事項とその方法

学修事項	DP	中間試験	レポート	小テスト	定期試験	発表	その他	合計
1、2、3	4		30				70	100
合計			30				70	100

演習態度*(70%)・レポート(30%)

*演習態度の具体的な評価方法について、参加者募集説明会及び参加者対象説明会で説明します。

・特記事項・その他

研修先：英語圏の国（例：イギリス・オーストラリア等）

期間：3月の予定

宿泊施設：ホームステイ等

参加希望者は研修内容を理解するために、参加者対象説明会及び最終説明会（各1時間程度）に参加する必要があります。研修に関するレポート（感想文）については、後日、個別にフィードバックします。